

科目名	生活と音楽					担当者名	浅倉 恵子
	選択						
ナンバリング	25S11C01	授業の種類	演習	単位数	2	開講時期	1年前期
授業内容	手遊びや絵本の読み聞かせ、パネルシアター等の劇表現などの保育技術、合わせて音楽身体表現などの表現力の学びを通して、食育の実践力を養う。						
到達目標	保育所、学校、地域と関わりながら食育の推進に取り組む際に、実践できる表現力が必要となる。この表現力を身につけることを目標とする。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	オリエンテーション、手遊びと音楽身体表現について					
	2	手遊びと音楽身体表現 (1)					
	3	手遊びと音楽身体表現 (2)					
	4	手遊びと音楽身体表現 (3)					
	5	手遊びと音楽身体表現 (4)					
	6	手遊びと音楽身体表現 (5)					
	7	手遊びと音楽身体表現 (6)					
	8	手遊びと音楽身体表現 (7)					
	9	絵本の読み聞かせ (1)					
	10	絵本の読み聞かせ (2)					
	11	絵本の読み聞かせ (3)					
	12	ペープサート、パネルシアター、エプロンシアター等の劇表現					
	13	グループでの創作表現活動 (1)					
	14	グループでの創作表現活動 (2)					
15	表現発表						
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		平常点評価	授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する。			60%	
		実技試験	創作表現発表を評価する。			40%	
教科書	適宜資料を配布する						
参考図書	『手遊びから音楽身体表現あそびへー指導案で示した保育の展開例』浅倉恵子、風詠社、2025年						
準備学習	復習をしっかりと行う						
課題等に対するフィードバック方法	創作表現発表後に講評を行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を奨励するが、創作活動についてはより多くの時間を要する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名		生活と美術				担当者名	水野道子
ナンバリング		25S11C02	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期
授業内容		生活を造形の観点から探求する素地を養う。具体的にはこれまでに身につけた食に関する知識を自ら発信していく一助となるよう形、配色といった効果的な造形技術を学ぶ。					
到達目標		①表現としての造形の知識、技法、素材について理解する。②作品完成に向け実技に取り組むとともに受講者相互で学び合う。					
授 業 計 画	回	内 容					
	1	生活事例での造形の知識(1)画材					
	2	生活事例での造形の知識(2)色彩					
	3	生活事例での造形の知識(3)色彩					
	4	生活事例での造形の知識(4)形					
	5	生活事例での造形の知識(5)形					
	6	生活事例での造形の知識(6)技法					
	7	生活事例での造形の知識(7)技法					
	8	生活事例での造形の知識(8)配置					
	9	生活事例での造形の知識(9)展開方法					
	10	生活事例での造形の知識(10)様々な表現					
	11	生活事例での造形による製作(1)製本へ向けて					
	12	生活事例での造形による製作(2)製本方法					
	13	生活事例での造形による製作(3)発表に向けて					
	14	生活事例での造形による製作(4)鑑賞					
	15	生活事例での造形による製作(5)振り返り					
成績評価方法と基準		評価方法	評 価 基 準			割合	
		授業参加姿勢	授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する。			20%	
		課題提出	製作課題の趣旨を理解し、工夫し提出できたか			30%	
		試験（レポート）	課題の趣旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか			50%	
						%	
教科書		特に定めない。					
参考図書		必要に応じその都度、提示する。					
準備学習		必要に応じ周知し予習をしておく。					
課題等に対するフィードバック方法		課題に対して返却時における講評、解説を行う。					
準備学習(予習・復習等)に必要な時間		講義・演習科目は1～4時間、実技・演習科目は1～2時間を推奨します。					
その他 留意事項		必要に応じ周知する。					
実務経験と資格等		小学校、中学校、高等学校（美術）教員免許を所持し教員実務経験をもつ。					

科目名	生活文化論 I					担当者名	小林 詩子
	[卒業必修]						
ナンバリング	25S11A03	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・前期
授業内容	社会人として望まれる日常生活の基本的なマナーを学び、身につける。						
到達目標	社会人として必要な基本的なマナーを理解し、正しいマナーを身につけて、状況に応じて使い分けができるようになる。さらに、マナーの根底にある相手を思いやる心をはぐくむことを目標とする。						
授業計画	回	タイトル	内 容				
	1	オリエンテーション	オリエンテーション				
	2	自己紹介とプレゼンテーション	自己紹介の基本				
	3	職場のコミュニケーション	コミュニケーションの基本、身だしなみと挨拶				
	4	職場のコミュニケーション	言葉づかい、敬語				
	5	職場のコミュニケーション	敬語のワーク				
	6	職場のコミュニケーション	報告・連絡・相談				
	7	来客応対と訪問	来客応対の基本				
	8	来客応対と訪問	茶菓の接待・名刺の扱い方				
	9	来客応対と訪問	名刺の扱い方演習				
	10	交際業務	紹介の仕方、面談の要領、訪問の心得				
	11	交際業務	冠婚葬祭、慶弔				
	12	交際業務	贈答、見舞い、取引先との付き合い、パーティーの基礎知識				
	13	交際業務	西洋料理のマナー				
	14	交際業務	和食のマナー				
	15	交際業務	中華料理のマナー、国際儀礼				
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	筆記試験		問題の正答率			70%	
	課題・レポート・提出物		課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか			10%	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する			10%	
		演習・実習の評価		授業内容を理解して準備、演習ができたか		10%	
教科書 参考図書	「よくわかる社会人の基礎知識 マナー・文書・仕事のキホン」 (ぎょうせい)						
準備学習	授業で学んだことを身につけるよう、日常生活で生かしていくこと						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーを配布して次回フィードバックを行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	長野女子高等学校講師、長野県短期大学講師 中学校教諭一種免許状(保健体育・家庭) 高等学校教諭一種免許状(保健体育・家庭)						

科目名	生活文化論Ⅱ					担当者名	小林 詩子
	ナンバリング	25S11B04	授業の種類	演習	単位数		
授業内容	社会人として望まれる日常生活の基本的なマナーを学び、身につける。						
到達目標	社会人として必要な基本的なマナーを理解し、正しいマナーを身につけて、状況に応じて使い分けができるようになる。さらに、マナーの根底にある相手を思いやる心をはぐくむことを目標とする。						
授業計画	回	タイトル	内 容				
	1	仕事の仕方とビジネス文書	美文字のコツ				
	2	仕事の仕方とビジネス文書	文章の書き方				
	3	仕事の仕方とビジネス文書	レポートの書き方				
	4	仕事の仕方とビジネス文書	手紙・はがきの書き方				
	5	仕事の仕方とビジネス文書	手紙・礼状				
	6	仕事の仕方とビジネス文書	手紙・礼状				
	7	仕事の仕方とビジネス文書	仕事の取り組み方				
	8	会議業務	会議の種類と取り組み方				
	9	ビジネス文書	ビジネス文書の基本				
	10	ビジネス文書	メールの書き方				
	11	ビジネス文書	社内文書				
	12	ビジネス文書	社外文書				
	13	旅行のマナー	旅の始まり乗り物、宿泊施設、観光地でのマナー旅の終わり				
	14	電話対応	電話対応の基本				
15	まとめ	まとめ					
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	筆記試験		問題の正答率			70%	
	課題・レポート・提出物		課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか			10%	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する			10%	
演習・実習の評価		授業内容を理解して準備、演習ができたか			10%		
教科書 参考図書	「よくわかる社会人の基礎知識 マナー・文書・仕事のキホン」 (ぎょうせい)						
準備学習	授業で学んだことを身につけるよう、日常生活で生かしていくこと						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーを配布して次回フィードバックを行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	長野女子高等学校講師、長野県短期大学講師 中学校教諭一種免許状(保健体育・家庭) 高等学校教諭一種免許状(保健体育・家庭)						

科目名	暮らしと法律					担当者名	平出 淳史
	選択						
ナンバリング	25S11A05	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	1年・前期
授業内容	人の一生について出生から人生の終焉を迎えるまでには、親子関係・結婚と家族生活・労働と職場・財産と相続といった多くの問題に直面する。こうした身近な問題について、憲法を中心に法律を通して考えながら現実を直視し、積極的にかかわっていくことができるための学習をする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法や法律を身近なものとしてとらえることができる。 ・法的な視点で物事を考える習慣(リーガルマインド)を身につけることができる。 ・自分の考えを論理的に述べることができる。 ・討論を通じて相手との意見交換に積極的に参加できる。 						
授 業 計 画	回	タイトル	内 容				
	1	法とは何か	授業の目的と概要				
	2	憲法の基本原理(1)	憲法とは何か				
	3	憲法の基本原理(2)	憲法の私人間効力				
	4	憲法の基本原理(3)	人権の享有主体				
	5	平等権	法の下での平等				
	6	自由権(1)	信仰の自由				
	7	自由権(2)	学問の自由				
	8	自由権(3)	表現の自由				
	9	社会権(1)	経済的自由権と社会権				
	10	社会権(2)	教育を受ける権利				
	11	立法・行政	国会と内閣				
	12	司法	裁判所・違憲審査制				
	13	地方自治(1)	地方自治				
	14	地方自治(2)	地方自治				
	15	全体のまとめ	全体を振り返り重要なポイントを確認する				
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	筆記試験		問題の正答率			70%	
	課題・レポート・提出物		課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか			10%	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する			20%	
教科書 参考図書	授業ごとテーマに沿った資料を配布する						
準備学習	自分が興味を持ったニュースや話題とそれについての感想をメモしておくこと(発表できるように)						
課題等に対するフィードバック方法	添削し返却する。また返却時における講評、解説を行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1~4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	人間生活論					担当者名	若麻 績 享 則
	[健康管理士必修]						
ナンバリング	25S11C06	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	2年・前期
授業内容	すべての人に平等に与えられた「人生」を考えることがテーマになります。「いのち」の尊さを自ら感じ取り、日々の生活から将来の展望を見つめ、より高い人間性を育むことを主題とし、「人間」と「生活」それぞれに力を付けて行くことの思考を深め実践法を探求していきます。						
到達目標	自ら自身の生き方を考え、「生きる力」に何が必要かを理解したうえで、実践的判断力を持つことができることを目標とします。						
授 業 計 画	回	タイトル	内 容				
	1	この授業について	幸福に生きるとは…自分の花を咲かせる生き方とは				
	2	「いのち」について考える①	「いのちのおはなし」から考える				
	3	「いのち」について考える②	「いのちの歌」自分のいのちとは				
	4	「いのち」について考える③	「てんしのいもうと」を聴く (ミニレポート作成)				
	5	「生活」と環境について考える①	「生活力」…人と関わる力とコミュニケーションリテラシー				
	6	「生活」と環境について考える②	「生活力」…デジタル社会のメディアリテラシー				
	7	「生活」と環境について考える③	「生活力」…経済力とマネーリテラシー				
	8	「生活」と環境について考える④	「生活力」…社会保障制度を知る				
	9	「生活」と環境について考える⑤	「生活力」…環境リテラシーとSDGs (ミニレポート作成)				
	10	「人間」について考える①	「生きる」とは…生・老・病・死				
	11	「人間」について考える②	「生きる」…心身の健康とヘルスリテラシー				
	12	「人間」について考える③	「生きる」…自由と規律個人と社会の快適性とは				
	13	「人間」について考える④	「生きる」…反省と感謝「こころ」を見つめることの大切さ				
	14	「人間」について考える⑤	「生きる」…自己をプロデュースするライフプランニング				
		まとめ	自分にとって必要な「人間力」と「生活力」とは (目標達成シート作成)				
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	筆記試験		課題の趣旨を理解し、考えを適切にまとめているか			70%	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する			15%	
	提出物		ミニレポート・リアクションペーパーの内容など			15%	
教科書 参考図書							
準備学習	特にありません						
課題等に対するフィードバック方法	適時リアクションペーパーを配布して課題について次回フィードバックを行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	善光寺寺務総長・淵之坊住職・保護司 長野青年会議所理事長・長野市PTA連合会長・S0日本長野会長ほかボランティア活動 僧侶(浄土宗教師)・仏教学修士						

科目名		基礎英語				担当者名	中田麗子
		栄養士（必修）					
ナンバリング	25S11C07	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年前期
授業内容	高等学校までの既習の教科目の学習内容を踏まえたうえで、日常的な場面（特に保育や食事に関連した場面）において頻出する英語の表現、実際の場面を想定した英語によるコミュニケーションについて学習する。						
到達目標	日常的な場面（特に保育や食事に関連した場面）において頻出する英語表現や実際の場面を想定した英語によるコミュニケーションができる。						
授業計画	回	内 容					
	1	基礎英語の概論					
	2	日常的な場面における英語表現①自己紹介					
	3	日常的な場面における英語表現②道案内					
	4	日常的な場面における英語表現③体調を聞く					
	5	日常的な場面における英語表現④好きなものを聞く					
	6	日常的な場面における英語表現⑤ものの場所を示す					
	7	日常的な場面における英語表現⑥人に何かするように／しないように言う					
	8	様々な場面において覚えておく便利な英語①食物アレルギー					
	9	様々な場面において覚えておく便利な英語②お昼寝・排泄					
	10	様々な場面において覚えておく便利な英語③1日の様子を伝える					
	11	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション①予定を伝える					
	12	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション②同僚との打合せ					
	13	自分の意見を相手に伝える場面でのコミュニケーション③体調不良について伝える					
	14	グループ課題の発表					
15	基礎英語のまとめ						
成績評価方法と基準		評価方法	評 価 基 準			割合	
		授業態度	授業ごとのリアクションペーパーを提出できたか			40%	
		筆記試験	課題の主旨を理解し、適切に回答できたか			60%	
						%	
教科書	一土屋麻衣子著『Happy English for Childcare 保育のための基礎英語』（金星堂）						
参考図書							
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておく。授業で出された課題をやっておく。						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーは、次の授業の際に講評を行う。筆記試験は解答を配布する。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	保育士、英検1級、国際学会や会議における英語での口頭発表・議論、英語論文の執筆。						

科目名	情報処理演習 I					担当者名	小林 健 雄
	卒業必修						
ナンバリング	25S11C08	授業の種類	演 習	単位数	1	開講時期	1年・①
授 業 内 容	P Cの基本的な仕組みやソフトウェアの利用方法、情報検索・受発信など活用できるようにする。Wordの基本機能を理解し、文章の入力や図・表の挿入、段組、差し込み印刷等ができるように日本語文書の作成の仕方を習得する。						
到 達 目 標	基本的な情報処理能力と情報を積極的に活用する態度を身に付けることができる。Wordの基本機能を理解し、図・表の挿入、段組、差し込み印刷等の簡易な日本語文書を作成できること。指示された実習課題を作成できること。						
授 業 計 画	回	タイトル	内 容				
	1	はじめに	情報システムの使い方、セキュリティについて				
	2	Windows10	Windows10、Word入門・情報及び情報技術の意義と役割について				
	3	日本語の入力	入力方式の設定、ひらがな・カタカナ・漢字変換				
	4	文章の入力	文節変換、入力の訂正・情報モラルと情報セキュリティについて				
	5	文書の作成 1	コンピュータの仕組みと操作について・書式設定、文章の入力、保存				
	6	文書の作成 2	文字の複写・削除・移動、文章の複写・削除・移動				
	7	編集機能 1	右揃え、中央揃え、箇条書き入力、フォントの変更、太字、斜体				
	8	編集機能 2	均等割り付け、文字の網掛け、下線				
	9	表・メールの設定	表の作成、行・列の挿入削除、メールの設定・使い方				
	10	画像	画像の貼り付け、サイズ変更・移動				
	11	テキストボックス	テキストボックスの挿入、編集				
	12	ワードアート	ワードアートの挿入、編集				
	13	Wordの活用 1	スクリーンショット、段組、ドロップキャップ				
	14	Wordの活用 2	差し込み印刷・インターネットの活用法について				
15	まとめ	まとめ					
成績評価方法と基準	評価方法		評 価 基 準			割合	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢があること			10%	
	授業中課題		課題の到達度			30%	
	実技試験		問題の正答率			60%	
教科書 参考図書	30時間でマスター Word2021 実教出版						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
課題等に対するフィードバック方法	授業中課題の質問に答え、授業時間内に理解できなかったことは、メールにて質問を受け、応答する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	情報処理演習Ⅱ					担当者名	小林健雄
	卒業必修						
ナンバリング	25S11C09	授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・③
授業内容	PCの基本的な仕組みやソフトウェアの利用方法、情報検索・受発信など活用できるようにする。Excel（表計算ソフト）の基本的な機能の理解と操作方法を習得する。						
到達目標	基本的な情報処理能力と情報を積極的に活用する態度を身に付けることができる。数式を入力して値を求めることができること。相対参照と絶対参照を理解すること。グラフを作成できること。合計、平均、最大・最小を求める。IF関数等主要な関数を理解し、使えること。						
授業計画	回	タイトル	内 容				
	1	はじめに	情報及び情報技術の意義と役割について				
	2	データの入力	情報モラルと情報セキュリティについて				
	3	Excel入門	コンピュータの仕組みと操作について・関数				
	4	ワークシートの活用1	行・列の削除・挿入・移動、列幅・行の高さの変更、平均の計算				
	5	相対参照	計算式の複写とセル番地の相対参照、表示形式の変更				
	6	罫線	罫線、便利なデータ入力の方法、オートカルク、セルのスタイル				
	7	絶対参照	セル番地の絶対参照				
	8	ワークシートの活用2	表示形式の変更2、文字属性の変更				
	9	最大・最小	MAX関数、MIN関数				
	10	データのカウント	COUNT関数、COUNTA関数				
	11	四捨五入	データの四捨五入、切り上げ、切り捨て				
	12	条件の判定	IF関数				
	13	グラフ	棒、積み上げ、折れ線、円グラフの作成、ラベルの編集				
	14	いろいろなグラフ	複合グラフ				
15	まとめ	データベース利用					
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢があること			10%	
	授業中課題		課題の到達度			30%	
	実技試験		問題の正答率			60%	
教科書 参考図書	30時間でマスター Excel2021 実教出版						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
課題等に対するフィードバック方法	授業中課題の質問に答え、授業時間内に理解できなかったことは、メールにて質問を受け、応答する						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							

科目名	スポーツと健康 I					担当者名	小林 詩子
	[卒業必修]・[栄養士必修]						
ナンバリング	25S11A12	授業の種類	実技	単位数	1	開講時期	1年・前期
授業内容	スポーツと健康の講義(初回のみ) ストレッチ、ニチレクボール、バドミントン、ヨガ						
到達目標	学生同士のコミュニケーションをはかり、主体的に安全にスポーツを行う態度を養う。運動と健康のかかわりを理解し、体力や身体、健康、スポーツへの理解を深め、健康に対する見方、考え方を広げ、健康づくりのための方法を考える力を養うことができる。技術向上の方法を考えたり、工夫することができ、仲間とともにスポーツに親しみ、楽しむことのできる力を身につける。						
授業計画	回	タイトル	内 容				
	1	オリエンテーション	スポーツと健康に関わる講義(教室にて)				
	2	ストレッチ・体力テスト	ストレッチ・体力テスト				
	3	ニチレクボール	基本練習 投球練習 ルール確認 試合				
	4	ニチレクボール	基本練習 投球練習 試合				
	5	ニチレクボール	基本練習 投球練習 試合				
	6	ニチレクボール	基本練習 投球練習 試合				
	7	バドミントン	本技術 ドロップ ヘアピン ドライブ				
	8	バドミントン	基本技術 サーブ スマッシュ				
	9	バドミントン	基本技術 クリアー ブッシュ				
	10	バドミントン	応用 シングルス 実践				
	11	バドミントン	応用 シングルス 実践				
	12	バドミントン	応用 ダブルス 実践				
	13	バドミントン	応用 ダブルス 実践				
	14	ヨガ	ヨガとは 歪み調整ヨガ				
15	ヨガ	リラックスヨガ					
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	授業参加態度		授業への参加意欲、取り組み姿勢を評価する(運動にふさわしい服装・髪型、記録等を含む)			40%	
	実技		それぞれの種目の特性を理解し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力			30%	
	筆記試験		問題の正答率			30%	
教科書 参考図書	必要があれば資料をGoogle classroom に載せます。						
準備学習	日頃から運動習慣をつけ、体力の向上をはかり、体調管理をしておく 授業で取りあげたスポーツのルール等を確認しておく						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーを配布して次回フィードバックを行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項	チャイムの前に用具の準備を協力して済ませておくこと 水分補給をするので、必ずペットボトルか水筒など蓋つきの飲み物を用意してくること 運動にふさわしい服装、髪形で参加すること タイツやサンダルは禁止 筆記用具持参						
実務経験と資格等	長野女子高等学校講師、長野県短期大学講師 中学校教諭一種免許状(保健体育・家庭) 高等学校教諭一種免許状(保健体育・家庭)						

科目名	スポーツと健康Ⅱ					担当者名	小林 詩子
	選択						
ナンバリング	25S11B13	授業の種類	実技	単位数	1	開講時期	1年・後期
授業内容	ソフトバレーボール ドッジビー リズムダンス						
到達目標	学生同士のコミュニケーションをはかり、主体的に安全にスポーツを行う態度を養う。運動と健康のかかわりを理解し、体力や身体、健康、スポーツへの理解を深め、健康に対する見方、考え方を広げ、健康づくりのための方法を考える力を養うことができる。技術向上の方法を考えたり、工夫することができ、仲間とともにスポーツに親しみ、楽しむことのできる力を身につける。						
授 業 計 画	回	タイトル	内 容				
	1	ソフトバレーボール	基本練習 アンダーハンドパス サーブ				
	2	ソフトバレーボール	基本練習 オーバーハンドパス 試合				
	3	ソフトバレーボール	基本練習 スパイク ブロック 試合				
	4	ソフトバレーボール	応用 ルール確認 試合				
	5	ソフトバレーボール	応用 試合				
	6	ドッジビー	投球練習 中あて 試合				
	7	ドッジビー	投球練習 中あて 試合				
	8	ドッジビー	投球練習 中あて 作戦 試合				
	9	ドッジビー	投球練習 作戦 試合				
	10	リズムダンス	前奏 1番Aメロ Bメロ				
	11	リズムダンス	前回の復習 1番サビ 隊形				
	12	リズムダンス	前回の復習 2番 隊形 班の課題				
	13	リズムダンス	前回の復習 2番 通し練習 班の課題				
	14	リズムダンス	通し練習				
15	リズムダンス	発表					
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準				割合
	授業参加態度		授業への参加意欲、取り組み姿勢を評価する(運動にふさわしい服装・髪型、記録等を含む)				40%
	実技		それぞれの種目の特性を理解し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力				20%
	ダンス		肘や指先が伸びているか、リズムに乗って踊っているか、グループの活動を協力してできるか等を評価する				20%
レポート		課題の趣旨を理解し、適切にまとめられているか				20%	
教科書 参考図書	必要があれば資料をGoogle classroom に載せます。						
準備学習	日頃から運動習慣をつけ、体力の向上をはかり、体調管理をしておく 授業で取りあげたスポーツのルール等を確認しておく						
課題等に対するフィードバック方法	リアクションペーパーを配布して次回フィードバックを行う						
準備学習(予習・復習等) に必要な時間	1～4時間						
その他 留意事項	チャイムの前に用具の準備を協力して済ませておくこと、水分補給をするので、必ずペットボトルか水筒など蓋つきの飲み物を用意してくること、運動にふさわしい服装、髪形で参加することタイツやサンダルは禁止筆記用具持参、冬場は寒さ対策をしてくること 人数等により場合によっては種目を変更する場合があります						
実務経験と資格等	長野女子高等学校講師、長野県短期大学講師 中学校教諭一種免許状(保健体育・家庭) 高等学校教諭一種免許状(保健体育・家庭)						

科目名	環境と健康(統計学を含む)					担当者名	平出 淳史
	[健康管理士必修]						
ナンバリング	25S28D06	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	2年・後期
授業内容	地球環境の保全は人類の生存に関わる重要な課題であることを理解し、地球環境を保全しつつ快適な生活環境と健康の向上を実現するために私たちの生活様式をいかに転換させるか考えることを授業の目標にする。授業は、大気・水・土壌・騒音と振動・廃棄物に関する環境問題を健康との関わりの中で議論する。また、労働が健康に及ぼす影響について考えるとともに、環境や公衆衛生の分野において必要な統計学の知識や技法を習得する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と生活環境、地域環境、地球環境の関係についての知識を得る。 2. 大気、水質、土壌の汚染、騒音・振動、悪臭の人への影響についての知識を得る。 3. 地球温暖化などの地球環境問題や環境汚染を防ぐ方法についての知識を得る。 4. 室内環境、廃棄物処理の現状及び適正化についての知識を得る。 5. メンタルヘルスについての知識を得る。 6. 労働の健康への影響及び労働環境を改善する方法についての知識を得る。 7. 食品栄養分析データ等をExcelの機能を使って統計解析する方法を習得する。 						
授 業 計 画	回	タイトル	内 容				
	1	私たちを取り巻く環境	環境、環境問題、環境問題への取り組み				
	2	私たちが住む地球	体内時計、地震・火山、水、大気、生態系				
	3	気象と健康	温熱条件、気象病、季節病				
	4	地球温暖化	温室効果、地球温暖化とその影響・対策				
	5	地球環境問題	オゾン層破壊、酸性雨、森林減少				
	6	地域環境問題	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、その他の公害				
	7	室内における環境問題	室内汚染、シックハウス症候群				
	8	都市の環境問題	ヒートアイランド現象				
	9	放射性物質による環境問題	原子力、放射線				
	10	精神保健	職場のメンタルヘルス				
	11	産業保健	労働と健康、産業疲労、職業病、労働災害				
	12	環境	自分自身の環境について考える				
	13	基礎の統計学①	分散、標準偏差、信頼区間				
	14	基礎の統計学②	カイ2乗検定、t検定、分散分析				
15	まとめ	全体を振り返り重要なポイントを確認する					
成績評価方法と基準	評価方法		評価基準			割合	
	筆記試験		問題の正答率			70%	
	課題・レポート・提出物		課題の主旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか			10%	
	授業参加態度		授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する			20%	
					、		
教科書 参考図書	「健康管理士一般指導員・健康管理能力検定1級テキスト5 生活環境と健康」(日本成人病予防協会)						
準備学習	あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
課題等に対するフィードバック方法	添削し返却する。また返却時における講評、解説を行う						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～4時間を推励する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等							